

# 青梅フォトカジェー展

2022年 第9回

## コンテスト作品募集

青梅フォトカジェー展をスタートして10年が経ちました。フォトカジェーならではの課題を毎年クリアしつつ、企画や内容も毎年改善して来ました。これまで続ける事が出来たのは、ご参加頂いた皆様のお陰です心から感謝申し上げます。

10年を節目に、これまでの実績の上により親しめる新たなフォトカジェー展を目指して行きたいと思います。初めてチラシをご覧の方も、どうぞお気軽にご参加下さい。一人ひとりの感性を大切に作るフォトカジェー展です。個性を生かした写真をお待ちしています。入選作品・無審査作品は初秋の「青梅フォトカジェー展」に展示されます。

### 内容は自由

西多摩在住・在職・在学の方限定

スマホ写真もOK!

(単・組写真合わせて5枚以内)

審査のない応募(無審査作品)も出来ます

西多摩在住以外の方でも応募できます

フォトカジェー賞：単写真応募の中から選ばれる優れた作品

準フォトカジェー賞：フォトカジェー賞に次ぐ優れた作品

ニューフォト賞：斬新な写真表現や独創性のある作品

ベストトレス賞：組み写真(3枚)応募の中から選ばれる優れた作品

フリーダム賞：チラシ裏面の「フリーダム賞とは」を参照

ゲスト審査員賞：ゲスト審査員が独自に選ぶ作品

フォトカジェー賞 1名2万円

準フォトカジェー賞 1名1万円

ニューフォト賞 1名1万円

ベストトレス賞(組写真) 1名1万円

フリーダム賞 1名1万円

特別賞

ゲスト審査員賞(山本東陽)

1名1万円

ボランティアスタッフを募集しています。どなたでも参加できます。 連絡先：奥村よしひろ

受付期間 7月1日～7月15日

### 第9回『青梅フォトカジェー展』

期間 2022年10月1日(土)～10月9日(日)

会場 青梅市商店街通りに6会場を予定

ゲスト審査員 山本東陽氏

招待作家(予定) Kim Gouansu氏、雨宮ゆき氏、坂本阡弘氏、

中里和人氏、畠田冴子氏、銀嶺のママさん

実行委員：奥村よしひろ 小川健司 伊藤圭 アキラ早坂 他



ゲスト審査員

主催：「青梅フォトカジェー」実行委員会

連絡先：奥村よしひろ 電話：0428-23-6962 メール：marin\_okumura@yahoo.co.jp

後援：(株)西多摩新聞社、(株)西の風新聞社、小澤酒造(株)、協賛：間修院、エルムンド

協力：青梅本町商店会、青梅市商店会連合会、NPO法人ぶらり青梅宿、わいわい青梅、銀嶺梅文社、青龍kibako、こどもや、金子ギャラリー、安穏寺

HP：<http://ome-photocalle.fotoporvenir.com>



# 応募要項（詳細）

応募期間	2022年7月1日～7月15日（消印有効）
応募資格	西多摩に在住、又はこの地域に在職、在学の方、及び西多摩の写真グループに所属されている方。
応募方法	単写真・組写真・フリーダム合計で5点まで。A4サイズにプリントして応募して下さい。 写真の裏側に下記の応募票に必要事項を記入の上、貼付けて下さい。 応募写真は返却致しません。
応募料	単写真 500円 / 1枚当たり、組写真 500円 / 3枚1組
審査委員	奥村よしひろ、伊藤圭、アキラ早坂、山本東陽氏（ゲスト審査員）
選考結果	8月末日頃、郵送でお知らせします。又、ホームページにも発表します。
出品方法	審査に合格した作品及び無審査作品は「青梅フォトカジェー展」に展示されます。 この場合、単作品は改めてA3ノビに、組み作品はA3にプリントして提出して頂きます。 （注：額は各々のサイズ相当でお願いします）
出品料	単作品 3000円 / 1枚当たり、組み作品 4500円 / 3枚1組を負担して頂きます。
支払方法	選考結果発表時に、金額（応募料、出品料）と振込先を合わせて通知致しますので 指定された期限までに入金して下さい。
無審査	審査を受けないで無条件に展示されます。一人 / 1点、単作品の場合は 応募料と出品料合わせて3500円、組み作品の場合は5000円。 西多摩在住以外の方も応募できます。その他は応募要項に準じます。
その他	希望者は応募写真にコメントを付す事が出来ます（別紙に撮影時の思い、撮影日、場所等） 作品の応募にあたり被写体との関係にトラブルが発生しない様をお願い致します。
応募先	〒198 - 0042 青梅市東青梅 1-4-15 メゾン東青梅 502 フォトポルベニル 奥村よしひろ宛

フリーダム賞とは 主催者が2021年に企画したイベント、「托鉢」の撮影会に参加しフリーダムに  
応募された中から優れた作品に与えられる賞です。

「青梅フォトカジェー」とは 西多摩に縁のある写真仲間がこの地域の写真文化を広め深める  
取組みです。従来型に捕われない発想と取組みで生き活きとした写真  
文化を育みたいと考えています。

ゲスト審査員 山本東陽氏 日本写真家協会会友、元、毎日新聞カルチャーシティー写真講師、  
目黒学園写真教室講師、講談社児童図書より「原爆ドームの祈り」出版。議会写真家、格闘技写  
真家、毎日新聞月曜夕刊にて、魚眼レンズによる写真「東京点景」を6年連載する。

ゲスト審査員賞とは 今年のゲスト審査員山本東陽氏のご好意により特別に新設された賞です。

## 応募票

氏名	(フリガナ)			
住所	〒			
電話&メール	(ケイタイ)	(自宅)		
	(メールアドレス 必須)			
種類 (○)	単写真	組写真 (3枚)	フリーダム	無審査
タイトル				
組み写真の順番 (○)	1	2	3	
受付番号 (主催者記入欄)				

\* 応募票はホームページからもダウンロード出来ます。